

講義科目 : 情報と社会	単位数 : 2
担当 : 笠 浩一朗	学習形態 : 選択科目

講義の内容・方法および到達目標

本講義は、現在の情報社会で求められる「情報に関する知識」と「情報倫理」を習得することを到達目標とする。

講義は、以下の三つの内容で構成されている。

一つ目は、情報倫理・リテラシに関することである。近年、ITの発達により、社会の生活様式は大きく変化し、誰もが簡単に情報を取得・発信できる世の中になっている。その一方で、個人情報の流出、ネット上での誹謗中傷・不法行為などの新たな問題が発生している。このような社会で、他人の権利を侵すことなく、互いが快適に過ごす方法を解説する。

二つ目は、言語処理技術に関することである。現在、インターネット上を中心に、多くの言語データが蓄積されており、それらのデータに対して、言語処理技術を活用することで、多くのサービスが提供され、人々に利用されている。講義では、言語処理技術を用いたシステムの仕組みを紹介する。

三つ目は、情報処理システムに関することである。情報処理システムの開発・管理の仕組みを紹介する。

授業計画

- 第1回 インターネット概論
- 第2回 ネットワーク利用におけるマナー
- 第3回 個人情報とプライバシー
- 第4回 電子商取引
- 第5回 知的財産権・メディアリテラシ
- 第6回 ネットワーク不法行為
- 第7回 情報技術とセキュリティ
- 第8回 情報倫理とリテラシ
- 第9回 言語処理技術（文字コード、形態素解析）
- 第10回 言語処理技術（構文解析、意味解析）
- 第11回 言語処理技術を用いたシステム（機械翻訳）
- 第12回 言語処理技術を用いたシステム（対話システム、情報検索）
- 第13回 システム開発とマネジメント
- 第14回 システム構成と故障対策
- 第15回 業務改善と分析手法

教材・テキスト・参考文献等

教科書：大島他「ケースで考える情報社会」【第3版】 三和書籍（ISBN978-4-86251-084-6）

成績評価方法

毎回の課題の結果 100%